

基本情報

指標番号

2006

名称

心不全患者へのβブロッカー投与の割合

分母

心不全で入院した症例数

分子

分母のうち、βブロッカーが投与された症例数

指標群

循環器系疾患 薬剤

意義

治療内容をみるプロセス指標

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、心不全の診断を受けた症例。 資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I50\$	心不全

3. このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. β ブロッカーが処方されている症例。 F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020
2123001	アセブトロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123002	アルプレノロール塩酸塩	○	○	○	○		
2123004	オクスプレノロール塩酸塩	○	○				
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123006	ブフェトロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123009	ピンドロール	○	○	○	○	○	○
2123011	アテノロール	○	○	○	○	○	○
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123015	ナドロール	○	○	○	○	○	○
2123016	ビスプロロールフマル酸塩	○	○	○	○	○	○
2123402	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149010	メトプロロール酒石酸塩	○	○	○	○	○	○
2149011	ピンドロール	○	○	○	○	○	○
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149021	ニブラジロール	○	○	○	○	○	○
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○				
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149031	ベタキシソロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149032	カルベジロール	○	○	○	○	○	○
2149033	ボピンドロール マロン酸塩	○					
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149700	ビスプロロール		○	○	○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考資料

参考値

1. QIPの過去の指標では35%前後。

参考資料

1. 「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会
2. 急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改訂版)(日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン) 日本循環器学会